

2017 第1号

# 医学教育センターニュース



編集・発行 愛知医科大学医学教育センター ~Aug. 2017~



平成 29 年度より、  
医学教育センターは新体制のもと、  
更なる教育改革に取り組んでいきます。



会議スペース



スタッフミーティングの様子

## ◆医学教育センター長のご挨拶

センター長・伴 信太郎 特命教授



私が 2017 年 4 月に医学教育センター長に着任して初めて発行するニュースですので、最初に医学教育センターの位置づけについて私の考えを説明させていただきます。

教育は全ての教員が担うべき業務です。医学教育センターは、当面は学部教育に特化して業務を推進するつもりですが、その役割は、学部教育の全体構想（ビジョン）、構想を設計図に落とすカリキュラム・プランニング、医学教育に関する情報収集及び分析、教員の教育評価システムの構築及び教員の FD（ファカルティ・ディベロップメント）の企画・実施、教育環境の充実のための提言、医学教育学的研究等々を行うシンクタンクの部門だと考えております。当面、医学教育センターは、

シミュレーションセンターと IR（Institutional Research）室と一体的に運営をしていく予定です。

ところで、「教育とは学習者の潜在能力を引き出す営み」と言われます。このことに鑑みれば、知識の伝達はその一部でしかないことがわかります。しかし、当面の知識不足を緊急に補うことが必要な場合（例えば国家試験対策）は、救急医療のごとく緊急対応せざるを得ない場合も当然あります。このことには、教務委員会と協働して全力で対応してまいります。しかし、それだけでは学習環境が閉息的になってしまいます。医療でも予防が最も大切であるように、医学教育も 6 年間をかけての基盤的能力の養成のためのカリキュラム作りと環境整備が大切で、これも同時に進めていきたいと考えております。換言すれば、学習支援のみならず発展学習（研究力アップ、海外留学支援等）、多様なキャリアパス支援なども組み込んだ、学習者の多様なニーズに応えられるような活動を進めていきたいと考えています。

今後は教務委員会と両輪となって、学生も積極的に企画・運営に巻き込みながら、本学医学部の医学教育の充実・発展に向けて活動していくつもりです。愛知医科大学生が誇りと自信を持って母校を卒業していけるような体制づくりのために、教職員の皆さまには様々な場面でご協力を仰ぐことになると思います。どうぞ宜しくお願い致します。

## ◆センター教員紹介

### 副センター長・早稲田 勝久 教授（特任）



1997年に卒業以来、循環器内科医として臨床・研究などを行ってきましたが、2017年1月より医学教育センターへ異動となりました。本邦の医学教育は、医学教育分野別認証制度（いわゆる国際認証）のもと大きな改革を求められ、本学も教育改革に取り組んでおります。最も大きな変更点の一つは、臨床実習の充実です。本学でも現行51週間から72週間へ大幅増加となり、更に「見学型」から「参加型」実習へと変化しております。また本学は2020年導入予定の全国共通PCC OSCEのトライアル実施大学の一つとなり、先日共用試験実施評価機構からの視察の元、終了しました。このような背景を考えると、臨床実習における診療科の役割は益々重要となり、Student

doctorとして、学生を一層臨床の現場に触れさせ、医療チームの一員として参加させなければなりません。また実習以外でも、プロフェッショナリズム、多職種連携など、医師としての多様性を身につけるために、様々な科目が用意されております。

このような教育改革のもと、学生は変化を求められており、教員もそれに対応していく必要があります。私も含め、自らの経験のみで医学教育・学生教育に携わることはもうできません。各講座のご協力の下、これらの教育改革を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 副センター長／地域医療教育学寄附講座・宮田 靖志 教授（特任）



昨年、医学教育センターの専任教員として愛知医大に赴任し、H31年度受審予定の医学教育分野別認証のための医学教育改革に従事してきました。卒業時コンピテンシー作り、臨床実習72週確保、地域医療教育の充実、等に着手し、今年度の新入生から実施している新カリキュラムの導入につなげてきております。新カリキュラムはまだ概要だけの構築にとどまっており、今後は内容の充実が大きな課題となっています。これらの過程では、医学部教員の先生方には次から次に様々な教育業務が降りかかってきており、診療、研究にご多忙であるにも拘わらず、多大なご協力をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。先生方のご協力によって、少しずつですが愛知医

大の医学教育改革は軌道に乗り始めてきております。

さて、私事ですが、昨年11月より愛知県の寄附講座・地域医療教育学寄附講座が本務となり、医学教育センターは兼務となりました。ただ、これまで通り卒前教育全体の改革には尽力していく所存であります。ちなみにですが、本務である地域医療教育学寄附講座は、地域卒学生の卒前教育や卒後のキャリア支援がタスクとして求められていますが、これだけに限らず、既にご存じのごとく2025年問題を控えた日本の超高齢社会では地域包括ケアシステムの構築が急務となっており、このシステムの中で十分に機能することができる医師を育成することも本講座の任務となっております。愛知医大の卒業生が各地の地域医療を支えるリーダーとなっていけるよう、地域医療教育の充実に取り組んで参りたいと思っておりますので、どうかよろしくご支援・ご指導をお願い申し上げます。

## 専任教員・青木 瑠里 講師



皆様、こんにちは。この度、7月から医学教育センターの一員になりました青木です。医学教育に携わることになった今日、今の学生に伝えられることは何かを考え、現在与えられた責務を果たしたいと感じております。

私の学生時代を思い返すと、何をどのように勉強したらよいのか？と悩み、勉強が楽しく、何もかも本当に苦しかった記憶が蘇ります。当時5年後半からBSLが始まるカリキュラムでしたが、4年の夏に早期からの病院実習を自ら恐る恐る希望しました。当時の臨床系教授から「あなたが所属する大学の病院を自由に出入りできないはずがありません。みたい・知りたいという意欲があるならどんどん参加しに来なさい」と助言をいただきました。1度、2度、3度…病院内で行われている「医療」を知れば知るほど、「医学」を勉強する意味を知り、意欲をもらい、勉強をすることが楽しくさえたことを忘れることができません。医療現場を知り、医師になりたいという「熱意」を持ち続けるということが、勉強したいという想いにつながります。この想いを育てる学生生活の一部を提供できればと思います。

今後とも何卒よろしく願いいたします。

## シミュレーションセンター・川原 千香子 講師



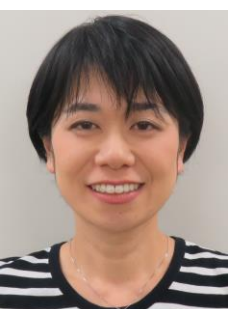
シミュレーションセンター川原です。医学教育センターでは、臨床実習前教育部門、カリキュラム検討部門、学修支援部門を担当しています。

シミュレーションというと、救急蘇生をはじめとする、急変対応などのアルゴリズム教育をイメージされると思いますが、様々な場面を想定して、体験し考察することを目的としているため、急変対応だけを示すものではありません。そこで、近年の1～2年生では、新入生合宿、早期体験実習や学外実習前の準備教育でのコミュニケーション演習、ケア技術の演習や、解剖器具の使い方の演習などを企画しています。また、4年生の基本手技実習のマネジメント、5年生のBSLの支援

を行っています。

現在の医学教育で求められている、実践能力の向上を目指して、学生の能動的学習を支援します。また、看護職であることを活かした医学教育を担当したいと考えています。

## IR室・佐藤 麻紀 講師



はじめまして。IR室 佐藤麻紀です。4月より医学教育センター内にあるIR室(Institutional Research)に異動になり、学生の入学時から卒業時さらに卒業後までの調査研究に従事することになりました。IR室は2017年1月に医学部に設置されました。設置されてから日が浅く、活動内容は試行錯誤の状況にあります。IR室での調査研究をフィードバックすることで、本学の医学教育の向上に寄与したいと考えております。これまでは生理学講座において、主に生理学教育および研究(温熱生理・体温調節・生体リズム)に携わってきました。生理学での研究をベースにIR室での活動を発展させていきたいと思っております。今回、新たな環境において医学教育全体を考える機会を与えられ、異なる環境で戸惑うことも多いですが、医学教育センターとともに日々邁進していきたいと思っております。

今後、本学は医学教育分野別認証(国際認証)を受審予定であり、医学教育の質保証や医学教育プログラムの改善のための一助になれば幸いです。医学教育センター企画広報部門員として、医学教育センターニュースの発行を担当します。よろしく願いいたします。

# ◆医学教育センター組織図

2017年8月14日現在

□□□ は部門長、 □□□□ はリーダー (敬称略・順不同)

# 医学教育センター



## ◆FD (ファカルティ・ディベロプメント) のご案内

平成 29 年 8 月 25 日 (金) 15:00~18:00

高知大学医学部附属病院 総合診療部 教授 瀬尾宏美 先生

「医療人を育てる新たな学習法~チーム基盤型学習 (TBL)」

平成 29 年 9 月 12 日 (火) 17:00~19:00

愛媛大学 教育・学生支援機構 教授 小林直人 先生

「大人数講義によるアクティブラーニング」



皆さま、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。